

自民有力議員の敗北続出

小選挙区で42人

10月31日投開票の衆院選では、自民党が公示前の276議席から減らしたもの、絶対安定多数の261議席を獲得しました。しかし、野党共闘によって1対1の構図が生まれ、小選挙区で自民党的閣僚や役員の敗北が続出する効果があらわれています。

神奈川13区での甘利明幹事長の敗北をはじめ、日本共産党やれいわ新選組が立

甘利氏ら 野党と1対1

候補を取り下げる立憲民主党の吉田晴美候補に一本化した東京8区では、経済再生担当相などを歴任した派閥の领袖（りょうしゅう）の石原伸晃元幹事長が落選。東京11区は若宮健嗣万博担当相が敗北しました。このほか、初代デジタル相を務めた香川1区の平井卓也元IT担当相、緊急事態宣言中に深夜まで銀座の飲食店に出入りしていた神奈川1区の松本純氏、千葉8区の桜田義孝元五輪相など1人が小選挙区で敗北を喫しました。副大臣や党役員代理、国会議員長も含めると42人に上ります。

小選挙区で落選した自民党の主な閣僚や役員（元職含む）

秋田2区	金田勝年(比)	元法相、元衆院予算委員長
千葉8区	桜田義孝(比)	元五輪相
東京5区	若宮健嗣(比)	万博相
東京8区	石原伸晃	元幹事長、元経再相
神奈川1区	松本純※	元国家公安委員長、元防災相
神奈川13区	甘利明(比)	幹事長、元経再相
静岡8区	塙谷立(比)	元総務会長、元文科相
香川1区	平井卓也(比)	元デジタル相、元IT相
福岡5区	原田義昭	元環境相、元文科副相
福岡10区	山本幸三	元地方創生相、元経産副相

(比)は、比例区での復活当選。

※松本氏は自民党を離党し、現在は無所属。